

令和5年度第2回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録

開催日	令和5年10月25日(水)	時間	13時45分 ～14時15分	場所	市立伊丹病院 くすのき講堂
出席者	<p>委員： 吉村委員長(伊丹市医師会会長)、栗田委員(宝塚市医師会会長)、木村委員(三田市医師会会長) 中村副委員長(伊丹市歯科医師会会長)、千葉委員(伊丹市薬剤師会会長) 福井委員(伊丹市消防局長)、松尾委員(伊丹市健康福祉部長)、塩川委員(川西市健康医療副部長)、喜多委員(三田市総合政策部地域医療推進担当部長) 中田委員(伊丹市病院事業管理者)、筒井委員(市立伊丹病院病院長)、中村委員(市立伊丹病院地域医療連携室主任部長)、伊東委員(市立伊丹病院地域医療連携室部長)、竹原委員(市立伊丹病院看護部長)、田中委員(市立伊丹病院事務局長)</p> <p>委任状： 清水委員(兵庫県伊丹健康福祉事務所長)、杉原委員(尼崎市医師会会長)、織田委員(川西市医師会会長)、細田委員(学識経験者)、藤本委員(宝塚市健康福祉部長)</p> <p>オブザーバー(市立伊丹病院)： 森田(副院長)、下山(診療部長)、三木(小児科主任部長)、萩原(放射線診断科主任部長)、水野(医療技術室長)、上田(薬剤科長)</p>				
議題内容	<p>■ 開会のごあいさつ</p> <p>本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。新型コロナウイルス感染症も5類相当となりましたが、完全に無くなった訳ではなく、更に9月、10月あたりからインフルエンザも流行って参りました。そのような中で、日々緊張にさらされながら地域医療に貢献いただいている市立伊丹病院の皆様には感謝申し上げます。早速ですが、ただいまより令和5年度地域医療支援委員会を開催させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>■ 委員紹介</p> <p>席次順に紹介 出席者過半数を超えているので本会は成立することを報告。 本委員会は「公開等および傍聴についての要綱」第2条ならびに第3条による公開となっており開催案内したが傍聴希望者は無。 ・本委員会は議事録作成のため録音している ・会議録の記載内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.開催の日時および場所 2.出席した委員、臨時委員、専門医委員および関係人の氏名 3.議題およびその内容 4.議題の要旨 5.議決事項 6.その他委員長が必要と認める事項 <p>討議の中での発言内容、発言者の氏名は記載無し 第18条により 会議録は市立伊丹病院ホームページにて公開</p> <p>■ 議事署名人の指名について(2名)</p> <p>・吉村委員長より指名 中村委員、福井委員に依頼したい 両者共に了承</p> <p>■ 議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 紹介患者に対する医療提供について 資料 1-① 1-② 1-③ 1-④ 1-⑤ に従って説明 				

資料 1-①

地域医療支援病院紹介率・逆紹介率

令和 5 年度上半期地域医療支援病院紹介率は 91.5% 逆紹介率は 113.1%で承認要件を充たしている。

資料 1-②

紹介患者紹介項目内訳

令和 5 年度上半期は診察患者と検査を含めて 10,306 件で前年度と比較して 1,737 件増加している。

・新型コロナウイルス感染症流行前との件数比較について

→紹介患者に関する件数につきましては、令和元年度、令和 2 年度と比較しますと新型コロナウイルス感染症流行期直前の令和元年度が 19,632 件と一番多く、翌年、令和 2 年度はコロナ禍により 16,846 件と減少しましたが、その後徐々に回復し、今年度におきましては予想になりますが、コロナ禍前の令和元年度の件数にまで到達できるかと思っております。救急患者件数につきましても同様の状況となっております。

・外来患者数に関してはどうか

→医師の人事異動等があり、その影響で前年度より若干減少するのではないかと予想しております。

資料 1-③

令和 5 年度上半期 科別紹介患者入院率

総入院患者数の 42.9%が紹介を受けた患者で前年度と比較して約 4%増加している。

資料 1-④

令和 5 年度上半期 患者住所地別紹介患者数

地域医療連携室経由の紹介患者は伊丹市が 77.3%で前年度と比較して約 2%増加している。

資料 1-⑤

令和 5 年度上半期 地域医療連携室利用割合

地域医療連携室の利用割合は 88%で前年度と比較して 1%増加している。

2) 救急医療の提供について

資料 2-①、資料 2-②に従って説明

資料 2-①

救急外来患者数調書

令和 5 年度上半期救急患者数は、3,953 件で前年度より 638 件増加している。入院化率は前年度より 1.1%増加している。

資料 2-②

救急搬送の応需困難状況

令和 5 年度上半期お断り率は 29.2%で前年度より 12%減少している。

・救急搬送について

→ 消防局では、暦年統計のため、若干数値が変わっているかもしれないが、10 月 24 日現在で 9990 件の救急出動があり前年と比較して 430 件、4.5%と若干増加している状況。コロナ禍においては、行動制限の影響もあり 2 年間で前年比 11%減少したが、今後は、高齢化に伴い、急激な伸びはないものの増加していくと予想される。引き続き、受け入れの協力をお願いしたい。

3) 地域の医療従事者に対する研修について

資料3に従って説明

令和5年度 地域医療従事者対象研修会開催一覧

研修会はウェブ研修を含めて10件開催しており、院外より226名の参加があった。下半期においても開催予定もあることから承認要件の12回を充たすことができると予想している。

4) 開放病床の運用実績について

資料4に従って説明

開放病床の平均利用率は5.4%で問題なく運用できている。

・主な利用の診療科は

→ 眼科の白内障手術による利用が主である。

5) その他

特になし

■ 閉会のごあいさつ

本日は、お忙しい中、市立伊丹病院 地域医療支援委員会にご出席賜り誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は本年5月8日から、感染法上の位置付けが5類へと移行されましたが、COVID-19は消え去ることはなく、感染性の高いXBB株による第9波の感染拡大を経験しました。当院では9月に複数の病棟でアウトブレイクが発生し、救急患者の受け入れを一時的に中止せざるを得ない状況となりました。地域の医療関係者の皆様には多大なご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。また、本年11月には救急外来の安全性と診療機能の改善を目的とした工事を予定しており、救急診療を一時的に中止させていただく予定です。地域の皆様にはご迷惑をおかけすることになりますが、ご理解とご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、本年度前半の医療提供状況を振り返りますと、先ほどご報告させていただきましたように、初診患者数は年換算しますと昨年度と比べわずかに減少傾向ですが、初診の紹介患者数は皆様のご支援を頂き、COVID-19感染拡大前の令和1年を上回る見込みです。

また、初診の救急外来患者数に関しましても、COVID-19感染拡大前の救急搬送数と同等にまで回復する見込みです。その一方で、救急外来の夜間・休日のウォークイン患者数の増加は限られており、軽症者の時間外救急診療への受診動向は、COVID-19前と比べ大きく変化したのではないかと考えています。

診療体制につきましては、第1回の地域医療支援委員会でご報告いたしましたように、救急科に、県立西宮病院の救命救急センター長として勤務されていた鴻野先生を迎え、統合新病院における救命救急センターの取得を目指して、診療体制や教育面での整備を開始しております。11月の救急外来の工事もこの一環として行う予定です。

教育面、特に来年度の研修医の募集に関しましては、お陰様で、医科の初期臨床研修医の募集枠10名に対し今年92名の応募があり、明日にはそのマッチング結果が発表される予定です。また、歯科臨床研修に関しましては昨日1名のマッチングが決定いたしました。臨床研修2年目の地域医療研修では登録医の先生には大変お世話になっています。厚く御礼申し上げますと共に、引き続きご支援下さいますようお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。統合新病院へ向けた工事などの影響でご不便をおかけすることもあるかと存じますが、今後とも市立伊丹病院へのご支援をお願い申し上げます。閉会のご挨拶とさせていただきます。

■ 謝辞

本日はお忙しい中、地域医療支援委員の皆様には、「令和5年度第2回市立伊丹病院地域医療支援委員会」にご出席頂きありがとうございます。吉村史郎先生を始め、委員の皆様には本委員会だけではなく、当院の診療にご協力をいただいていますことに篤くお礼申し上げます。

一年遅れとなりましたが、公立学校共済組合近畿中央病院との統合新病院の建設につきましては、2026年度の竣工に向かって整備工事を進めております。現在は職員宿舎・保育所整備工事として正面入り口北に建物を建て、来年7月に医局の全医師が仮引越をする予定です。また、以前の職員宿舎跡には東棟整備工事を行っており、来年8月に外来と検査部門の引越をしたいと考えております。

統合新病院におけるソフト面の検討としましては、両病院からの委員で運用検討WGと情報システムWGを設置し、多職種にて外来や手術等のフローから検討項目を選び出して可視化し、詳細を詰めていただき始めております。まだまだはじめの段階ですが、すこしずつ進んでいきますので、引き続きご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

今後も臨床ではいつもどおり、「安全で、質の高い医療を、効率よく」を基に進めて参りますので、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

本日はどうもありがとうございました。

別紙のとおり「令和5年度第2回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として作成する。

作成者

令和5年11月28日

吉村史郎



別紙のとおり「令和5年度第2回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として確認する。

議事録署名人

令和5年12月5日

中村義盛



議事録署名人

令和5年12月12日

福井浩次

